

VMware vCenter Server on IBM Cloud

コントロール維持とリスク最小化の実現と同時に、VMware 環境の展開を週単位から時間単位へと大幅に短縮

vCenter Server on IBM Cloud について

デジタル・トランスフォーメーションは、モバイル、ビッグデータ、モノのインターネット (IoT) などとともにイノベーションのスピードを加速させています。企業は収益を増やすために、もっと迅速にクラウド・アプリケーションを活用できるようになりたいと考えています。そして、アプリケーションから得られるデータで、ユーザー体験の向上につながる洞察を集める必要性も認識しています。このような背景で、IT 組織がコントロールを維持しながらリスクを最小限に抑え、開発者と事業部門からの増え続けるリクエストには迅速に応える必要があるというプレッシャーが高まっています。

通常、事業部門がサービスやアプリケーションを要求した時点から、IT チームがオンプレミスで必要な VMware 環境の調達、設計、導入、展開やテストを行うのには数週間が必要で、数か月になることさえあります。vCenter Server on the IBM Cloud なら、クラウド上での展開とキャパシティの拡張が短期間で可能なので、その時間を数時間にまで削減することが可能となります。IT 部門は、クラウドのもたらすスピードとスケラビリティにより、新しいサービスを事業部門に素早く提供し、企業の成長を後押しすることができます。

このソリューションは、VMware vSphere スタックをサービスとして提供する、ホステッド・プライベート・クラウドとなります。VMware 環境は、最低 2 台以上の IBM Cloud ベアメタル・サーバーとファイルレベルの共有ストレージの上に構築されます。そして、VMware NSX によって稼働する、管理が容易な論理型のエッジ・ファイアウォールが自動的に構成されてデプロイされます。環境全体のプロビジョニングは数時間で可能です。また、必要に応じて、弾力性のあるベアメタル・インフラストラクチャーでコンピュータ・キャパシティの迅速なスケールアウトを実現します。

IBM Cloud では、vSphere 6.0 Enterprise Plus エディション、NSX Base for Service Providers エディションそして一元化された管理プラットフォームである vCenter Server を含む VMware フルスタックとネイティブなアクセスを実現しています。利用中のアプリケーション、ツール、スクリプトを変更することなく、あるいはスキル習得のための新たな投資も必要なく、既存のワークロードをクラウドへ、あるいはクラウドからクラウドへと移動できます。

ソリューションの特長

- ホステッド・プライベート・クラウドにあるベアメタル・サーバーとプロバイダー管理下の保存データの暗号化によるセキュリティの強化
- リソースの調達、設計、導入、展開およびテストにかかる時間を週単位または月単位から時間単位に短縮し、開発者や事業部門への IT プロジェクトのデリバリーを加速化
- トレーニングへの投資を無駄にせず、慣れ親しんだ vSphere 対応ツールやスクリプトを使用してクラウド上のワークロードを容易に管理
- vCenter および ESXi ホストへのアクセス管理によるホスト環境のコントロール維持と、ベアメタル・サーバーに至るまでのクラウド・インフラストラクチャーへの可視性の確保
- オンプレミス環境を IBM Cloud に拡張し、アプリケーションの再設計とリファクタリングにかかるコストやリスクを避けて、エンタープライズ・アプリケーションをクラウドに移行できるハイブリッド・クラウド戦略の採用

主なユースケース

今日、多くの企業のお客様が必要としているハイブリッド・クラウドの様々なシナリオに vCenter Server on IBM Cloud は対応しています。

キャパシティの拡張 – クラウドにワークロードを展開し、必要に応じて拡大、成長させながらリソースの制約に迅速に対応します。vCenter Server on IBM Cloud で、既存ツールをそのまま利用し、ワークロードのポータビリティも実現します。

データセンターの集約 – ワークロードを IBM Cloud に移動し、老朽化または余剰インフラストラクチャーを取り除きます。

データセンターのモダナイゼーション – オンプレミスの vSphere 5.1 または 5.5 から vSphere 6.0 のクラウド環境にワークロードを移行します。管理が容易で事前構成済みの論理型のエッジ・ファイアウォールを備える NSX を活用し、必要に応じてマイクロセグメンテーションなどの高度なセキュリティ機能にもアップグレードが可能です。

災害復旧 (DR) – vCenter Server を Zerto on IBM Cloud で稼働する災害復旧 (DR) ソリューション用のターゲット・インフラストラクチャーとして使用します。本稼働ワークロードがオンプレミスで稼働している場合でも、IBM Cloud 上で既に稼働している場合でも、災害復旧イベント中の迅速なスケールアウト・パフォーマンスとの組み合わせにより、vCenter Server はシングルテナントのコンピュータ環境のセキュリティを強化します。

コンピュータ・サイズとキャパシティの選択

スモール

2 ノード・クラスター:
19 vCPU、101 GB vRAM
約 16 の本稼働 ワークロード*

拡張ノード:
14 vCPU、82 GB vRAM
約 13 の本稼働 ワークロード*

ミディアム

2 ノード・クラスター:
33 vCPU & 264 GB vRAM
約 42 の本稼働 ワークロード*

拡張ノード:
21 vCPU、164 GB vRAM
約 26 の本稼働 ワークロード*

ラージ

2 ノード・クラスター:
40 vCPU & 590 GB vRAM
約 60 の本稼働 ワークロード*

拡張ノード:
25 vCPU、327 GB vRAM
約 37 の本稼働 ワークロード*

ファイルレベルの共有ストレージ

ファイル共有オプション:
1、2、4、8 または 12 TB

パフォーマンス・オプション:
2、4、または 10** IOPS/GB

NFS オプション:
NFSv4.1 または NFSv3.0

*想定本稼働ワークロード = 4 vCPU、8 GB vRAM

**10 IOPS/GB 最大容量 4TB

アーキテクチャー概要

顧客管理ファイアウォール



最小 2 ノード・クラスター:



ファイル・レベルの共有ストレージ

リファレンス・アーキテクチャーの詳細は、[IBM Architecture Center](#) にアクセスしてください。

価格設定

VMware vCenter Server on IBM Cloud は、すべてのインフラストラクチャー、IBM が提供する VMware ソフトウェア・ライセンスおよびサポートへのアクセスを含め、毎月のサブスクリプション・ベースでご利用いただけます。

価格はデータセンターにより異なります。最新の価格設定は

<https://console.bluemix.net/infrastructure/vmware-solutions/console> からご確認ください。

購入方法

IBMの担当営業にお問い合わせいただくか、IBM Cloud コンソールにログインしてご注文ください。

<https://console.bluemix.net/infrastructure/vmware-solutions/console>

サポート

ドキュメント、トラブル・シューティング、サポートの連絡先情報は、オンラインで

<https://console.bluemix.net/infrastructure/vmware-solutions/console#Support> にアクセスしてください。

さらに詳しい情報は？

当社サイト www.ibm.com/cloud-computing/jp/ja/ibm-vmware.html にアクセスするか、0120-550-210 (平日9時00分～17時00分) cloudedm@jp.ibm.com までご連絡ください。

VMware、VMware ロゴ、VMware Cloud Foundation、VMware Cloud Foundation Service、VMware vCenter Server および VMware vSphere は、VMware, Inc. の米国およびその他の管轄権における登録商標または商標です。